

平成20年5月27日

第6回設計コンサルタント業務等成果の向上に関する懇談会

資料 2 - 2

## 建設コンサルタント業務等における平成19年度 総合評価落札方式の試行について(報告)

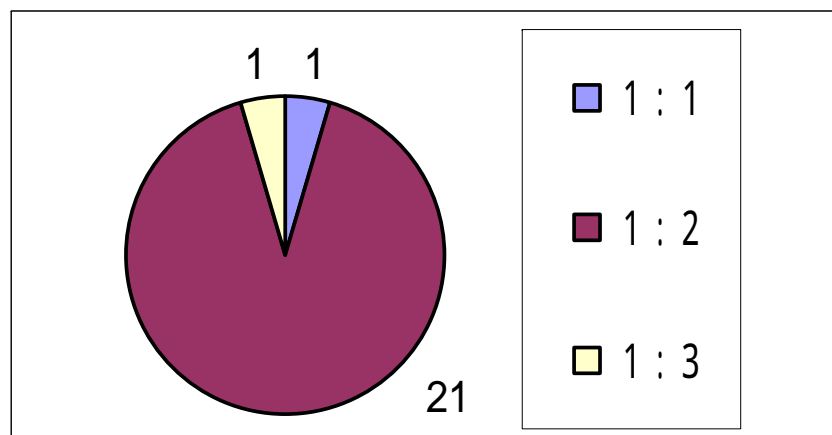
# 平成19年度総合評価落札方式の試行概要

## 試行案件:

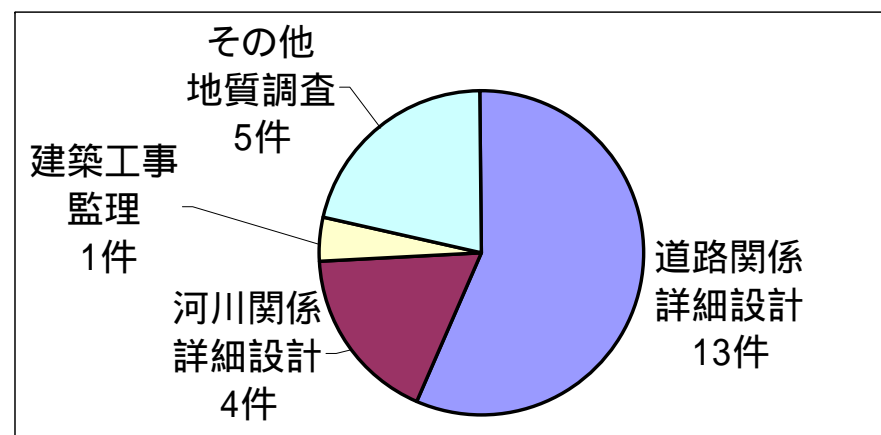
- ・試行予定案件数25件中23件が業務完了。2件が未契約(平成20年4月時点)。

## 試行の概要:

- ・従来、価格競争により調達を行ってきた業務において実施。
- ・**加算方式**を採用し、価格点:技術点 = 1:1 ~ 1:3を試行。
- ・道路関係詳細設計、河川関係詳細設計、建築工事監理、その他地質調査等幅広い分野で試行。
- ・23件中、価格点:技術点 1:1を1件、1:2を21件、1:3を1件試行。
- ・これらの試行結果を基に包括協議を実施し、平成20年度早期に本格導入。



平成19年度試行案件数(比率別)



平成19年度試行案件数(業務別)

# 平成19年度総合評価落札方式の試行結果

## 試行の結果:

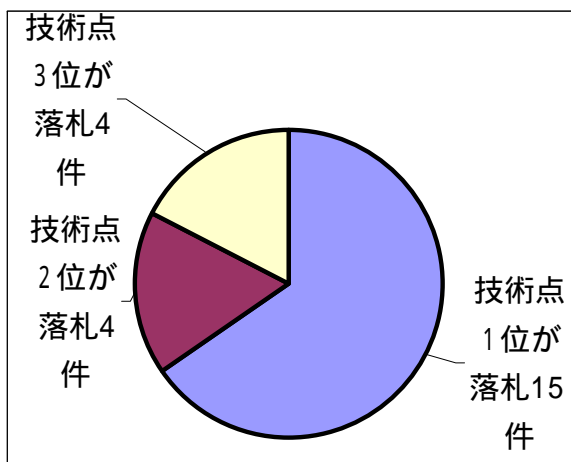
- ・価格点1位を逆転して落札した案件数は、**23件中19件**。
- ・落札者の技術点順位は、**全案件で技術点3位以上の者が落札**。  
技術点1位でない者(2位又は3位)が落札した件数は8件。

## 総合評価実施の効果

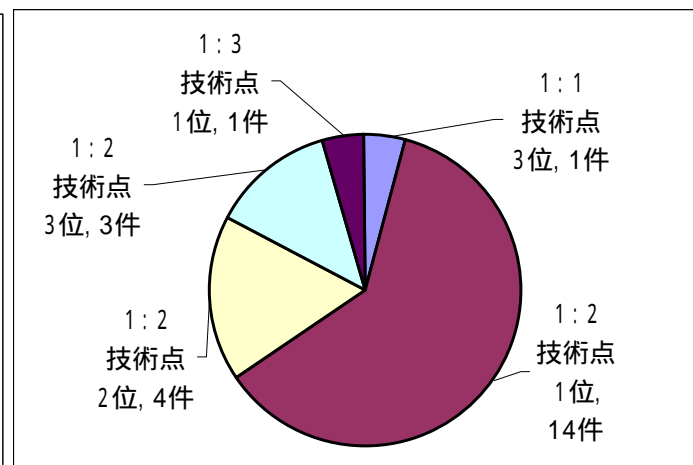
- ・すべての業務における技術提案において後の工事における**コスト縮減提案**、または**社会的便益が向上**(交通規制時間の短縮、短工期化等)する提案がなされた。  
**調達価格の差異に比して事業の成果に相当程度の差異が生じることが期待される。**

## 低入札の発生状況

- ・低入札価格調査対象業務20件(予定価1,000万円超)のうち低入札に当たる入札額が11件で発生。そのうち、低入札の者が落札したのは6件。よって5件は総合評価により低入札を回避。



落札者の技術点順位別件数



落札者の比率及び技術点順位別件数

コスト縮減に関する提案		19件中
落札者: 評価に値する提案有り	最低価格者: 提案無	6件
落札者: 評価に値する提案有り	最低価格者: 落札者の提案に劣る	6件
社会的便益に関する提案		19件中
落札者: 評価に値する提案有り	最低価格者: 提案無	7件
落札者: 評価に値する提案有り	最低価格者: 落札者の提案に劣る	0件
価格1位を逆転して落札した案件数		計19件

落札者と最低価格者の提案の違い2

# 平成19年度総合評価落札方式の試行結果(1)

業務分類	通し番号	業務名称	業務内容	価格点 : 技術点	落札者		最低価格者	予定価格 (千円)	調査基準価格 (千円)	落札者	最低価格者
					技術点	価格点	技術点			入札価格 (千円)	入札価格 (千円)
道路関係	1	A国道ランプ橋	本線 : 橋長30m、幅員20.5m ランプ: 橋梁40m、幅員5.5m	1 : 3	1位	1位	1位	22,450	15,210	15,900	15,900
	2	B川橋	2径間連続鋼箱桁橋(L = 114m)の詳細設計	1 : 2	3位	6位	10位	36,800	25,030	29,600	22,800
	3	C橋	橋梁詳細設計 1橋、橋長: 173m	1 : 2	2位	3位	9位	32,460	22,120	24,300	23,000
	4	D橋	316m × 10.15m(暫定2車線)、鋼7径間連続非合成鋼桁	1 : 2	3位	2位	7位	41,460	28,160	29,800	29,000
	5	E川橋	橋長37m、鋼単純鋼桁	1 : 2	1位	6位	8位	11,320	8,284	9,600	8,200
	6	F道路橋	橋梁詳細設計1橋、橋長: 約51m、鋼単純細幅箱桁橋	1 : 2	1位	3位	7位	22,580	15,620	17,900	15,800
	7	G道路水管橋	水管橋5橋(44m、56m、55m、60m、51m)	1 : 2	1位	2位	3位	52,590	35,010	39,400	38,000
	8	H歩道橋	横断歩道橋詳細設計 1橋(支間): 31m 幅員: 3m	1 : 2	1位	6位	4位	8,690	-	7,000	6,200
	9	I道路	4,200m × 10.5m(暫定2車線)	1 : 2	1位	6位	7位	48,120	33,850	41,000	29,500
	10	J道路	1,200m 立体交差1箇所	1 : 2	2位	4位	7位	8,670	-	7,300	6,500
	11	K道路函渠	箱型函渠2箇所	1 : 2	1位	8位	9位	8,390	-	7,700	5,600
	12	L溪流対策	砂防堰堤及び床固工4基、流木対策工3基、法面工4断面、閉塞対策工11基	1 : 2	2位	1位	2位	60,440	41,990	29,700	29,700
	13	M交差点	道路詳細設計(A) 500m 平面交差点詳細設計 1箇所	1 : 2	2位	1位	2位	11,960	8,390	8,000	8,000

赤字は低入札

# 平成19年度総合評価落札方式の試行結果(2)

業務分類	通し番号	業務名称	業務内容	価格点 : 技術点	落札者		最低価格者	予定価格 (千円)	調査基準価格 (千円)	落札者	最低価格者
					技術点	価格点	技術点			入札価格 (千円)	入札価格 (千円)
河川関係	14	N砂防堰堤	本堤:52m×12m、副堤:35m×4.5m	1:2	1位	8位	9位	28,880	20,850	23,800	17,500
	15	O樋管改築	樋管詳細設計 1式 既設樋管撤去詳細設計 1式	1:2	1位	4位	3位	21,400	14,990	18,700	15,000
	16	P樋門	2.5m×2.5m×30m 1連	1:3	1位	9位	4位	15,640	10,970	15,300	10,500
	17	Q樋管	樋管:断面2m2未満、一連L=3.5~4.6m未満の詳細設計	1:2	1位	3位	5位	14,820	10,370	11,400	10,900
建築関係	18	R合同庁舎工事監理	庁舎 鉄筋コンクリート造 6階 新築 車庫 鉄骨造1階 622㎡ 新築	1:2	1位	1位	1位	34,524	23,670	31,000	31,000
	19	S合同庁舎工事監理	庁舎 鉄筋コンクリート造 地上8階 地下1階 新築	1:3	未契約			未契約 (対象工事が低入札調査により遅れた影響)			
その他 (地質調査、 測量、 用地調査)	20	T堤防	ボーリング29本、原位置・室内試験、 解析調査	1:2	1位	4位	8位	50,260	40,930	37,500	26,400
	21	U軟弱地盤調査	ボーリング73.5m、原位置・室内試験 1式、解析調査 1式	1:2	1位	4位	3位	41,350	32,790	31,950	24,500
	22	V地質調査	ボーリング6本、弾性波探査5測線、 原位置・室内試験、解析調査	1:2	1位	2位	4位	25,840	18,530	21,600	21,000
	23	W地質調査	ボーリング29本、原位置・室内試験、 解析調査	1:2	3位	2位	9位	44,780	37,455	33,800	33,400
	24	X地質調査	地質調査ボーリング7本、原位置・室内 試験、解析調査	1:1	3位	2位	9位	19,320	16,548	13,500	12,300
	25	Y地区用地調査	予備調査、企業の内容等の調査、敷 地使用状況等の調査、建物調査、 機械設備等調査、移転工法作成	1:2	未契約			未契約 (地権者から調査の了解得られず)			

赤字は低入札

# 総合評価落札方式の本格導入までの経緯

公共工事の品質確保の促進に関する法律(H17.4)(調査及び設計:3条7項)

→ 公共工事に関する調査及び設計の品質が確保されなければならない。

公共工事の品質確保の促進に関する施策を総合的に推進するための  
基本的な方針(H17.8)【閣議決定】 7 調査・設計の品質確保に関する事項

→ 調査・設計業務についても価格と品質が総合的に優れた内容とする必要あり。

総合評価方式の試行

建設コンサルタント業務で初の**総合評価方式を1件試行**(H17.12)

懇談会の設置

設計コンサルタント業務等成果の向上に関する懇談会を設置(H18.6)

懇談会中間とりまとめを公表(H19.3)

特に短期的に実施(検討)を行う施策として、**総合評価方式の導入**、「設計成果品の品質評価」の導入、三者会議の実施、上半期発注の徹底、発注予定情報の早期公表、**低入札対策の強化**、が示された。

H18急激なダンピング  
傾向への対応

**会計法に基づく低入札価格調査の導入**(H19.4)

**総合評価方式の追加試行**(H19.4、H19.9で計25件)

低入札価格調査の詳細な運用を通知(H19.10)

自民党公共工事品質確保に関する議員連盟による提言(H19.12)

総会の中で、設計についても低入札の失格基準や総合評価の必要性を指摘。

関係省庁連絡会議申し合わせ(H20.3)平成20年度早期に調査設計業務にも総合評価を本格導入することが盛り込まれる

青字:外部からの要請

赤字:要請に添った  
施策の推進

総合評価方式の  
本格導入

**業務コスト調査の導入**(H20.4)

**総合評価方式の包括協議成立**(H20.5)加算方式で価格:技術 = 1:1 ~ 3

# 総合評価落札方式の包括協議概要

公共工事に関する調査及び設計に関する入札に係る総合評価落札方式(協議文抜粋)  
(平成20年5月2日 財計第1279号)

## 適用範囲

入札者の提示する専門的知識、技術及び創意等(以下「技術等」という。)によって、**調達価格の差異に比して、事業の成果に相当程度の差異が生ずると大臣が認める**公共工事に関する調査及び設計に係る契約を締結しようとする場合に適用する。

## 落札方式

「総合評価の方法」によって得られた**数値の最も高い者を落札者とする。**

## 総合評価の方法

1. 入札価格及び技術等に対する総合評価の得点配分の割合は、**入札価格に対する得点配分が全体の四分の一以上となる割合とする。**
2. 入札価格の得点は、入札価格を予定価格で除して得た値を一から減じて得た値に入札価格に対する得点配分を乗じて得た値とする。
3. 評価の対象とする技術等については、当該調達の目的・内容に応じ、事務・事業上の必要性等の観点から評価項目を設定する。
4. 価格及び技術等に係る総合評価は、入札者の入札価格の得点に当該入札者の申込みに係る技術等の各評価項目の**得点の合計を加えて得た数値**をもって行う。